

キッズタウン 2024

実施報告書



目次

1. 実施スケジュール	2
2. 実行委員会(開催：金城学院大学).....	2
3. 開催報告.....	4
4. キッズタウン 2024 タイムテーブル.....	8
5. ふりかえり市民総会	10
6. お店紹介.....	11
7. アンケート	14
8. 記録写真.....	16
9. 運営組織.....	17

開催目的

- ① 消費者市民を育成することを目的に、若年層への消費者教育体験イベントおよび、消費者教育の担い手を養成する事業として「キッズタウン 2024」を開催します。
- ② 仮想のまちの中で、労働・納税・消費行動・選挙といった、社会の様々な仕組みに触れる体験の場を、子ども達に提供します。

あいさつ

この度、キッズタウン KINJO 主催の「子どものまち」として、キッズタウン 2024 を大森小学校のトワイライトに通う子どもたちを対象に開催いたしました。

キッズタウン内で行われる職業体験では、公共施設や飲食店、娯楽の店舗や子ども大学などを設けております。特に子ども大学では、食品ロスとエシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した消費行動)について授業をし、カフェでは環境に配慮したフェアトレード商品を販売することで、子どもたちに環境や社会に配慮して生活する重要性を学んでもらいました。子ども大学やカフェ運営を含め、子どもたちが安全かつ楽しく参加できるよう、学生メンバーは約8か月間にわたり試行錯誤を重ね、準備を進めてまいりました。

今年も昨年に引き続き、子どもたちとの交流機会を増やすべく、放課後児童クラブを学生が直接訪問し、本番以外のイベントも開催いたしました。この全過程において、多大なるご配慮を賜りました保護者の皆様と専門員・アシスタントパートナーの皆様、心より感謝申し上げます。また、子どもたちにとって今回のイベントで得た経験が、今後の市民生活において活かされることを心より願っております。

キッズタウン 2024 実行委員長 末久万莉

1. 実施スケジュール

日時	名称	内容
2024年2月14日	第1回実行委員会	引き継ぎ、キッズタウン2024の方針確認
2024年3月30日	第2回実行委員会	部署決め、年間目標の設定、スケジュール検討
2024年4月4, 18, 25日	第3~5回実行委員会	本番の内容検討、ボランティア募集
2024年5月9, 16, 23日	第6~8回実行委員会	各部署の内容検討、備品・資料の作成、
2024年6月6, 20日	第9~10回実行委員会	各部署の内容検討、備品・資料の作成
2024年7月11, 18, 25日	第11~13回実行委員会	事前説明会内容検討、備品・資料の確認
2024年7月26日	トワイライトでの説明会	トワイライトへの説明・子ども達と交流
2024年8月2, 16, 24日	第14~16回実行委員会	本番の会場設営・リハーサル、 本番の備品・資料・スケジュールの確認
2024年8月28日	キッズタウン本番	キッズタウン本番
2024年9月18日	第17回実行委員会	本番振り返り、報告書作成、備品整理
2024年10月10, 31日 11月7, 28日	第18~21回実行委員会	報告書進捗確認・作成

2. 実行委員会(開催：金城学院大学)

金城学院大学にて、「キッズタウン2024」を開催するにあたり、「キッズタウン2024 実行委員会」を設置し、ボランティアスタッフが集まり、イベントの内容を検討しました。

☆第1回実行委員会 2024年2月14日

昨年のキッズタウン2023の振り返りを行い、本年度の運営方針の検討や実行委員会と本番のスケジュールの確認などを行いました。



☆第2回実行委員会 2024年3月30日

本年度のキッズタウン運営を円滑に進めるため、委員長などの役職や部署決め、年間目標の設定を行いました。また実行委員会や本番のスケジュールについても検討して大まかな流れを把握し、どのような準備が必要か話し合いました。

☆第3~5回実行委員会 2024年4月4, 18, 25日

過去のキッズタウンの報告書などから本年度に新しく取り入れる事柄などのキッズタウン本番の全体的内容を検討しました。またボランティア募集の呼びかけを行いました。

☆第6~8回実行委員会 2024年5月9, 16, 23日

公共、お店などの各部署、各お店の内容を検討しました。新しい運営メンバーと多くの当日ボランティアが決定しました。

☆第9～10回実行委員会 2024年6月6,20日

各部署、各お店の内容を再度検討・確認し、必要な備品・資料を作成しました。



☆第11～13回実行委員会 2024年7月11,18,25日

今年初めて参加するトワイライトの子ども達に、キッズタウンを紹介する準備をし、子ども達と仲良くなるためのアイスブレイクのリハーサルやキッズタウン当日の流れの説明資料の作成などを行いました。また、引き続きキッズタウン当日に必要な備品・資料の作成を行いました。

☆トワイライトでの説明会 2024年7月26日

トワイライトではまず子ども達と仲良くなるためにだるまさんが転んだでアイスブレイクをし、キッズタウン本番の流れの説明、キッズタウン内のファクトリー・お店で販売するおもちゃを子ども達と一緒に作成しました。

☆第14～16回実行委員会 2024年8月2,16,24日

本番使用する備品や資料の最終確認を行いました。当日のスケジュール確認も入念に行い、臨機応変に対応できるようにしました。8月24日には当日参加メンバーも加わり、会場設営とリハーサルを行いました。

☆キッズタウン本番 2024年8月28日

まず参加した子ども達に事前アンケートを行った後、市民登録アカデミーでキッズタウンで遊ぶために必要なことを説明しました。その後開会式を行い、仕事に着いたり、遊んだりしてもらいました。子ども達は、初めは苦戦しながら仕事をしていましたが、だんだんコツを掴み楽しみながら仕事をしていたことが印象的でした。大学生のスタッフは、子ども達のサポートや迷っている子ども達のやりたいことを汲み取り、店長役として仕事や遊びの提案なども行いました。この活動を通して、子ども達と一緒に大学生のスタッフも消費者教育について改めて考えることが出来ました。

☆第17回実行委員会 2024年9月18日

キッズタウン2024を終えて、各お店に感じた点をまとめてもらい、それをもとに今年度の反省点や来年度に向けての改善点について話し合いました。報告書係はこれらをもとに報告書作成を進めました。

☆第18～21回実行委員会 2024年10月10,31日、11月7,28日

報告書作成の進捗状況について確認し、意見を出し合いました。先生方からの助言もいただき最終校閲を行い、1冊に編集して冊子にしました。

3. 開催報告

☆はじめに

キッズタウンは、ドイツのミュンヘン市にて 1979 年から開催されている「ミニ・ミュンヘン」をもとに、日本では 2002 年から実施されている子どもが職業体験や市民体験ができる消費者教育プログラムです。

今回の金城学院大学にて開催した「キッズタウン 2024」では、子どもたちは市民登録アカデミーで市民登録を行い、開会式にてまちでの遊び方を説明した後、活動を開始しました。活動が始まると、約半数の子どもたちはハローワークで仕事を探し、お店で働くか、勉強をしました。残りの半数の子どもたちは、初めにもらえる 100 円分のお祝い金を使って、ゲームや買い物、カフェでご飯を食べたりしました。活動は、1 回 30 分、合計 6 回行いました。仕事や勉強をした子どもたちは、銀行で給料(仮想通貨のお金：円)をもらった後、税務署に行き税金を納めました。市民体験では、来年残したいお店の投票をしたり、まちをより良くするための意見表をポストに入れたりしました。名古屋市守山区役所の協力で、本物の投票箱を使用でき、リアルな体験ができました。また、まちでの体験が終わった後は、各店舗の売上を発表する市民総会を行いました。このように、子どもたちは主体的に自分が働きたいお店を選び、欲しい商品を買ったり、投票するなどの体験を楽しんでくれたと思います。後日、子ども達から「楽しかった」、「また来年も来たい」という絵手紙を受け取り、スタッフとして地域への社会貢献をできた喜びを実感しました。

☆概要

開催日時	2024 年 8 月 28 日(水) 10:00~16:00
開催場所	金城学院大学 E1 棟 210
対象者	小学 1 年生~小学 6 年生
参加費	無料
参加人数	64 人
ボランティア	44 人

☆キッズタウン 2024 の遊び方



てもらうことになっています。この市民証を銀行に提示することで、給料がもらえます。給料をもらった後は税務署に行き、税金を納める流れです。銀行、税務署それぞれで確認のハンコを押してもらわないと、次の仕事が出来ません。また、市民証の右側には、どんな買い物をしたのか、何にお金を払ったのかを記載できるようになっています。

～スタンプラリー・目標記入～

スタンプラリー
～よいしみんなをめぐって、スタンプをあつめよう～
★8こいじょうあつめて、！！おもちゃしょうひんをもらおう！！

マイナンバー () 名前

8こあつめたらしやくしよでしょうひんがもらえるよ！

フェアトレードのチョコレートをかう	ゲームであそぶ	おもちゃさんのしょうひんをかう
まちをよくするいけんをポストにいれる	☆	こどもだいがくでまなぶ
しやくしよでぬりえやクイズをやろう	ぜいさんをおさめる	きゅうりょうをもらう

キッズタウンのもくひょうをかこう！

どんなしごとをしたい？
どんなまちをつくりたい？

なにをかきたい？
なにをしてあそびたい？

①どんなしごとがしたい？

②まちでなにをしたい？

③キッズタウンをどんなまちにしたい？

④キッズタウンでできるようになりたいこと

⑤実現したいこと

裏面には、より良い消費者市民を目指すための項目が設定されたスタンプラリーを記載しました。「フェアトレードのチョコレートを買う」、「市民の意見を伝えるために、意見箱に自分の意見を入れる」などの各項目を達成すると、スタンプを押してもらえます。今回は、スタンプを8個集めたら景品のおもちゃ商品券をもらい、その商品券でおもちゃが安く買えるようなスタンプラリーを企画しました。

またスタンプラリーの台紙の下には、キッズタウンの目標を書く欄を設けました。子どもたちに、本番開始前に以下のような目標を立ててもらうことで、キッズタウンを通して、自分達が何を学んで何を身につけたいのかを考え、明確化してもらう時間を設けることができたと考えています。

～実際の子どもたちの目標(一部抜粋)～

キッズタウンのもくひょうをかこう！

①どんなしごとがしたい？
カフェ

②まちでなにをしたい？
いろんなものをかいたい

③キッズタウンをどんなまちにしたい？
へいわな町

④キッズタウンでできるようになりたいこと
おかねかせぐ

⑤実現したいこと
またじゅうすとちよこがたべたい

～意見表～

いけんひょう
キッズタウンをよりよいまちにするために
いけんをかこう！

～投票用紙～

とうひょうようし
キッズタウンをよりよいまちにするために
いけんをかこう！

意見表と投票用紙を用意し、子ども達が自分たちのまちについて意見を言いやすい環境づくりをしました。

意見表は、キッズタウンを体験していて感じた改善点や嫌な点を書けるもので、市役所にポストを用意してもらいました。投票用紙は来年も欲しいお店を書いて投票できるようにしました。より実際の投票に近づけるため、守山区役所に投票箱と紙に書くための記載台を貸していただきました。

☆キッズタウン 2024 でのお金の種類・メニュー表

キッズタウン 2024 は、働いたり遊んだりする上で必要なお金や値札は独自のものを使用し、カフェやかき氷屋では熱中症対策やフェアトレードを考慮してメニューを作成しました。また来年に向けて意見表と投票用紙も書いて投票してもらいました。

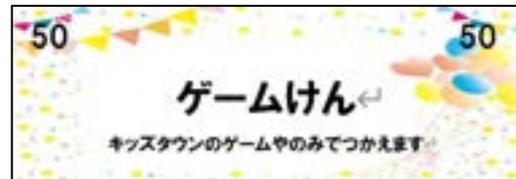
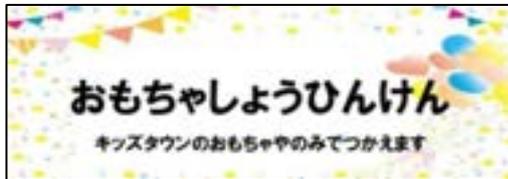
～お金～



～値札～



～商品券～



子ども達は、キッズタウン 2024 内で使える 4 種類のお金、スタンプラリーを完成することでもらえるおもちゃ商品券を使い、お金を得たり使ったりします。また、キッズタウン 2024 内で使われる値札は、値段のほかに作った人のニックネーム、商品のアピールするポイントなどを書く欄も作りました。商品のアピールするポイントを書く欄は、買う時は商品の情報を確認するようになってほしいため、生産者には PR ポイントを書くことで買ってもらえるかを考えて書いてもらいました。

～メニュー～

	みず	りんご	オレンジ	カルピス	コーラ	ファンタグレープ	かき氷	フェアトレード商品
ねだん	10	20	20	20	20	20	30	30
アレルギー								

～カフェ・かき氷屋のアレルギー表～

しょうひんめい	ひょうじがきむつげられた とくしていげんざいりょう							ひょうじがすいしょうされている げんざいりょう													
	りんご	みず	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	りんご	
みず																					
りんごジュース																					●
オレンジジュース																					
コーラ																					
ファンタグレープ																					
カルピス																					
フェアトレード																					
チョコレート																					

キッズタウン内にあるカフェやかき氷屋では、メニューと値段、アレルギーを明記した表を貼り、子ども達自身でアレルギーに注意して買い物ができるようにしました。また市民証に書いてもらったアレルギーとすぐに照らし合わせられるように、商品それぞれの特定原材料のアレルギー表も作成しました。

熱中症対策として色々な種類の飲み物を用意し、気軽に購入して飲めるように、値段は低く設定しました。

4. キッズタウン 2024 タイムテーブル

☆トワイライト 2024年7月26日（金）13:30～16:30

13:30	開会
13:40	アイスブレイク(だるまさんが転んだ)
14:00	キッズタウンの説明
14:45	製作する商品の説明
15:00	商品づくり(新聞紙ロケット・よく回るこま・扇子)
16:30	解散

最初に、アイスブレイクでだるまさんが転んだをして子どもたちと仲良くなった後、キッズタウンについての説明やおもちゃの商品づくりをしました。キッズタウンについての説明は、会場図を見ながらお店の紹介や当日どのような流れでお仕事体験をすることができるかなどを紹介しました。その後、キッズタウン内のカフェで販売するフェアトレードチョコレートや、仕事をしてお金を稼いだ後には必ずしなければいけない納税について、生活する上で配慮しなければならない環境についてなど、小学生低学年の子どもたちでも理解できるように説明しました。分からなかったことや質問があれば手をあげて発表してもらい、疑問点を解決できるようにしました。

商品づくりでは、当日おもちゃ屋さんで販売するおもちゃのうち、新聞紙ロケット、よく回るこま、扇子の3種類を作ってもらいました。この日に製作したおもちゃはキッズタウン当日にしか購入できないので、当日までの楽しみの一つにしてもらいました。



☆キッズタウン 2024 本番 2024年8月28日(水) 10:00~16:00

10:00	金城学院大学に到着
10:10	アンケート・市民登録アカデミー
10:45	開会式
11:00	活動開始
14:00	活動終了
14:15	ふりかえり市民総会開始
14:50	来年の目標記入・アンケート
15:30	閉会式

当日は、子どもたちは大森小学校に集合してトワイライトのアシスタントパートナーと、キッズタウン会場の金城学院大学へ移動しました。会場に着いたら、最初に事前アンケートの記載をしてもらい、その後、市民登録アカデミーをしました。事前アンケートでは、商品やお金に関することや物を購入する際考えていることを○×形式と1~5で度合いを問う形式で行い、市民登録アカデミーでは市民証やお金の説明をしたり、市民証へ名前やアレルギー、今回の目標の記入をしてもらいました。今回参加している子どもたちは3分の1以上が小学一年生と低学年が多かったため、大学生は子どもたちの机を回り記入の補助をし、スムーズにアンケートや市民証の記入ができるようにしました。開会式では開会宣言をし、会場図を見ながら、改めてキッズタウンでの過ごし方について説明しました。

活動開始したら、一回30分間で仕事や勉強や買い物をし、それを合計6回繰り返しました。子ども達は、お店の店員として接客の体験や銀行・税務署の職員としてお金の管理の体験、子ども大学にてエシカル消費や食品ロスについて勉強をしました。昨年より低学年の子どもたちが多かったため、見回りの大学生を多くし、困っている子どもたちに積極的に声をかけるなど、仲良くしながらさまざまな体験ができるよう心掛けました。また、仕事をして給料をもらうときに、意見表と投票用紙も配布し活動終了までにポストや投票箱に入れてもらい、ふりかえり市民総会で投票結果を発表しました。

昼食は、保護者の方に作っていただいたお弁当をカフェで購入し、友達と食べてもらいました。お弁当の金額は保護者の方に決めてもらいました。混雑を避けるため、昼食は隣の部屋で食べてもらうことにしたため、税金が集まった際のおもちゃの種類増加やタイムセールのアナウンスは、隣の部屋にいる子ども達にも行い、情報が全員に行きわたるようにしました。



5. ふりかえり市民総会

活動終了後 14:15～14:50 にキッズタウン 2024 の市民が集まり、ふりかえり市民総会を行いました。ふりかえり市民総会では活動中に投票してもらった来年もやりたいお店の投票結果、それぞれのお店ごとに集計した売上や参加人数などの結果を発表しました。

☆お店の投票結果

順位	店名	投票数
第1位	かき氷	15票
第2位	カフェ	6票
第3位	ファクトリー	4票



来年もやりたいお店を選び、投票用紙に記入して、投票箱に投票してもらった結果は、第1位がかき氷屋で15票、第2位がカフェで6票、第3位がファクトリーで4票でした。食べ物を販売しているお店は第1位で人気でした。また、おもちゃを作るファクトリーが第3位と、商品作りを楽しんでいることがわかりました。



☆各店舗の集計結果

分類	番号	お店の種類		結果
(A)公共 4店舗	1	市役所	落とし物があった数	6個
			案内した人	4人
			クイズや塗り絵、相談した人	13人
	2	警察	注意された人	10人
(B)お店 3店舗	3	ハローワーク	お仕事を探しに来た人	147人
	4	税務署	税金の合計	2900円
(C)遊び 2店舗	5	銀行	給料を渡した合計	16400円
			6	おもちゃ屋
	7	ファクトリー	働いた人	32人
(D)飲食 2店舗	8	ボウリング	作った数	35個
			9	栗拾い
(E)学び 1店舗	10	カフェ	売上	1250円
			11	かき氷
	12	子ども大学	勉強した人	63人
			売上	4740円
			売上	1290円
			勉強した人	24人

6. お店紹介

キッズタウン 2024 では、5つの分類、合計12個のお店を出店しました。公共は市役所、警察、ハローワーク、税務署の4店舗、お店は銀行、おもちゃ屋、ファクトリーの3店舗、遊びは栗拾い、ボウリングの2店舗、飲食はカフェ、かき氷の2店舗、学びは子ども大学の1店舗出店しました。

分類	番号	店名	子どもの活動
(A)公共 4店舗	1	市役所	店員：市役所の受付、会場内の清掃・ゴミ拾い 市民：市民証の受け取り、市民登録、クイズや塗り絵
	2	警察	店員：会場内の見回り、違反者の取り締まり
	3	ハローワーク	店員：求人紹介、市民の相談対応、順番の整理 市民：仕事登録
	4	税務署	店員：税金徴収、集まった税金の合計額の管理 市民：納税
(B)お店 3店舗	5	銀行	店員：給料の支払い 市民：給料の受け取り
	6	おもちゃ屋	店員：ファクトリーで作成したおもちゃの点検・販売 市民：仕事で得たお金での商品購入
	7	ファクトリー	店員：おもちゃ屋で作成した商品の販売
(C)遊び 2店舗	8	栗拾い	店員：受付、ルール説明 市民：ゲームへの参加
	9	ボウリング	店員：受付、ルール説明 市民：ゲームへの参加
(D)飲食 2店舗	10	カフェ	店員：飲食物の販売、飲み物を注ぐなどの作業 市民：弁当や飲み物、フェアトレードチョコの購入
	11	かき氷	店員：かき氷の販売、かき氷製作などの作業 市民：かき氷の購入
(E)学び 1店舗	12	子ども大学	店員：受付、感想の掲示 市民：環境に関する授業への参加



(A)公共：4店舗

① 市役所

市役所は、落とし物の受付や教室内のゴミ拾いの他、消費生活センターでは環境マークのぬりえやクイズを行いました。子どもたちにはぬりえが人気でした。完成した絵は、会場に貼ったことで、会場がにぎやかな雰囲気になりました。



② 警察

警察は、町を巡回して走っている人や食べ歩きをしてる人、喧嘩してる人などを見つけたらイエローカードを渡しました。警察署では、マイナンバーと名前を聴取し、イエローカードを渡した人に口頭で注意し、イエローカードが3枚集まってしまったら50円の罰金を払ってもらいました。お金やおもちゃ屋で買った物等の落とし物が多く届けられましたが、落とし物対応や走ったかどうかの基準は人により異なるため警察署の仲間と協力してルールを作ることも必要だと思いました。



③ ハローワーク

ハローワークでは、どの仕事をやってみたいかを子どもたちに聞き、仕事内容を教えたり、求人を紹介したりしました。最初に並んだ子達は好きな仕事を選べますが、後から来た子は選べないこともあったので、後から来る子は2回目には優先的に仕事を選べる仕組みにできると良いなと思いました。お仕事によっては、求人が集まらないものもあったため、次回は子ども達にわかりやすく仕事の内容を伝えることを改善していきたいです。



④ 税務署

税務署は、銀行で給料をもらった後、20%の税金を納めてもらいました。ピーク時には納税に来たかどうかを記録することが難しかったので、次回は改善できればと思います。納税額を達成すると、販売されるおもちゃの種類が増え、おもちゃが割引されるアナウンスなどをしたところ、好評でした。



(B)お店：3店舗

⑤ 銀行

銀行は、仕事が終わった子どもたちの市民証を確認し、ハンコを押して給料を渡しました。忙しい時間と暇な時間の差が出るため、お金の仕分けなどをやってもらうと良いと思いました。子ども達には、50円1枚と10円5枚を渡すよりも100円1枚の方が「買い物がしやすい」と喜ばれました。



⑥おもちゃ屋

おもちゃ屋は、子ども達が作ったおもちゃの検査をして、品質チェック後に販売をしました。お客さんが多い時は、大学生のスタッフも増員して対応しました。次回は、子ども達でも理解できるようなマニュアルを作り、自分達で仕事を行えるようにしていきたいです。働きに来た子どもたちには、レジ体験が人気でした。おもちゃの販売をする際に、どの商品が人気なのか、商品を魅力的に見せるにはどうするか、どの価格帯が受け入れられるかを考えるきっかけになりました。



⑦ファクトリー

ファクトリーは、おもちゃ屋で売るおもちゃを作る工場です。人気のあるおもちゃを沢山作れると良かったのですが、スムーズにできない時もありました。次回は、担当者全員がすべての種類のおもちゃを作れるようにすることで改善したいと思います。子ども達には、けん玉作りがとても好評でした。



(C)遊び：2店舗

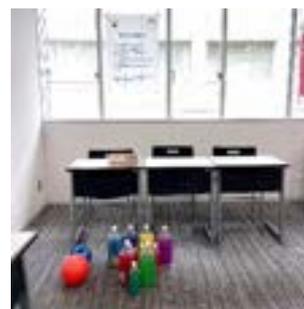
⑧栗拾い

栗拾いをして、農家体験をするゲーム屋です。栗を沢山拾えた子に、景品として渡していたゲーム券が、子どもたちに好評でした。また、子ども同士で対決をするので、子ども達同士で楽しんでいた印象を受けました。初期設定の価格が高く、あまり子どもが来なかったため、70円から50円に値段を下げると、遊びに来てくれるようになりました。来年は、価格設定をしっかりと考えると、子どもが楽しめるのではないかと思います。



⑨ボウリング

ボウリングは、ピンを多く倒して競います。ストライクを出すと、ゲーム券がもらえます。これにより、何度も来てくれる子どもが多く、好評でした。ピンを並べる位置を公平にするために、テープでラインを作ると、子どもたちが自分でピンを正しい位置に直したりしていたので、来年は子ども達のやりやすい方法を事前に考えていきたいです。



(D)飲食：2店舗

⑩カフェ

カフェでは、フェアトレードのチョコレートと飲み物、保護者の方に作っていただいたお弁当を販売しました。お昼の時間帯は、お弁当を買いに来る子ども達が多く、混雑してしまうことが予測された為、お弁当を置くスペースを確保するなど、しっかりと対策をする必要があると感じました。チョコレートは売り切れてしまう程人気であった為、今後はメニューの値段についても見直しをできると良いです。



⑪かき氷

かき氷屋は、色々な味のかき氷を作り、販売しました。かき氷機を回すには結構強い力が必要だったため、1人は回し、1人は抑える、というような工夫をしました。また、お客さんからお金を受け取ること、かき氷を作ることの両立は難しい時もある為、今後は役割分担をあらかじめ決めてから仕事をするようにしていきたいです。子供たちからは、シロップの種類が豊富だったとお店自体は大変好評でした。



(E)学び：1店舗

⑫子ども大学

こども大学では、こどもたちに食品ロスやエシカル消費などの社会問題について学んでもらいました。最初、受講することもたちが少なかったため、今後は、呼び込みの工夫をしたいと思いました。こども達には、すごろく形式で学ぶ講座が好評でした。



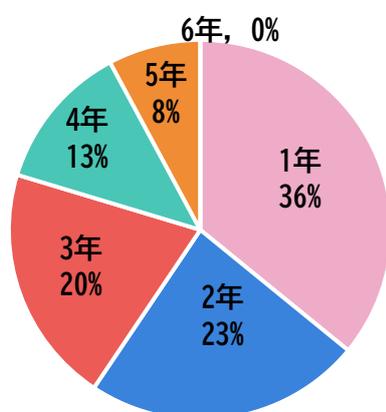
7. アンケート

キッズタウン 2024 では、参加いただいた子ども達に本番前と本番後に計2回、アンケートを実施しました。このアンケートの目的は、キッズタウンの活動を通し、子ども達に消費者教育としての効果があったかどうかを明らかにすることです。

キッズタウン 2024 では、参加いただいた子ども達に本番前と本番後に計2回、アンケートを実施しました。このアンケートの目的は、キッズタウンの活動を通し、子ども達に消費者教育としての効果があったかどうかを明らかにすることです。

本番前の調査は、2024年8月28日(水)の開会式の前行い、これからキッズタウン 2024に参加する全ての子どもたちに一番近い回答を選んでもらいました。本番後の調査は、同日のふりかえり市民総会の後に、参加した子ども達に、お店で働いたり商品を買ったりした感想を含めて答えてもらいました。

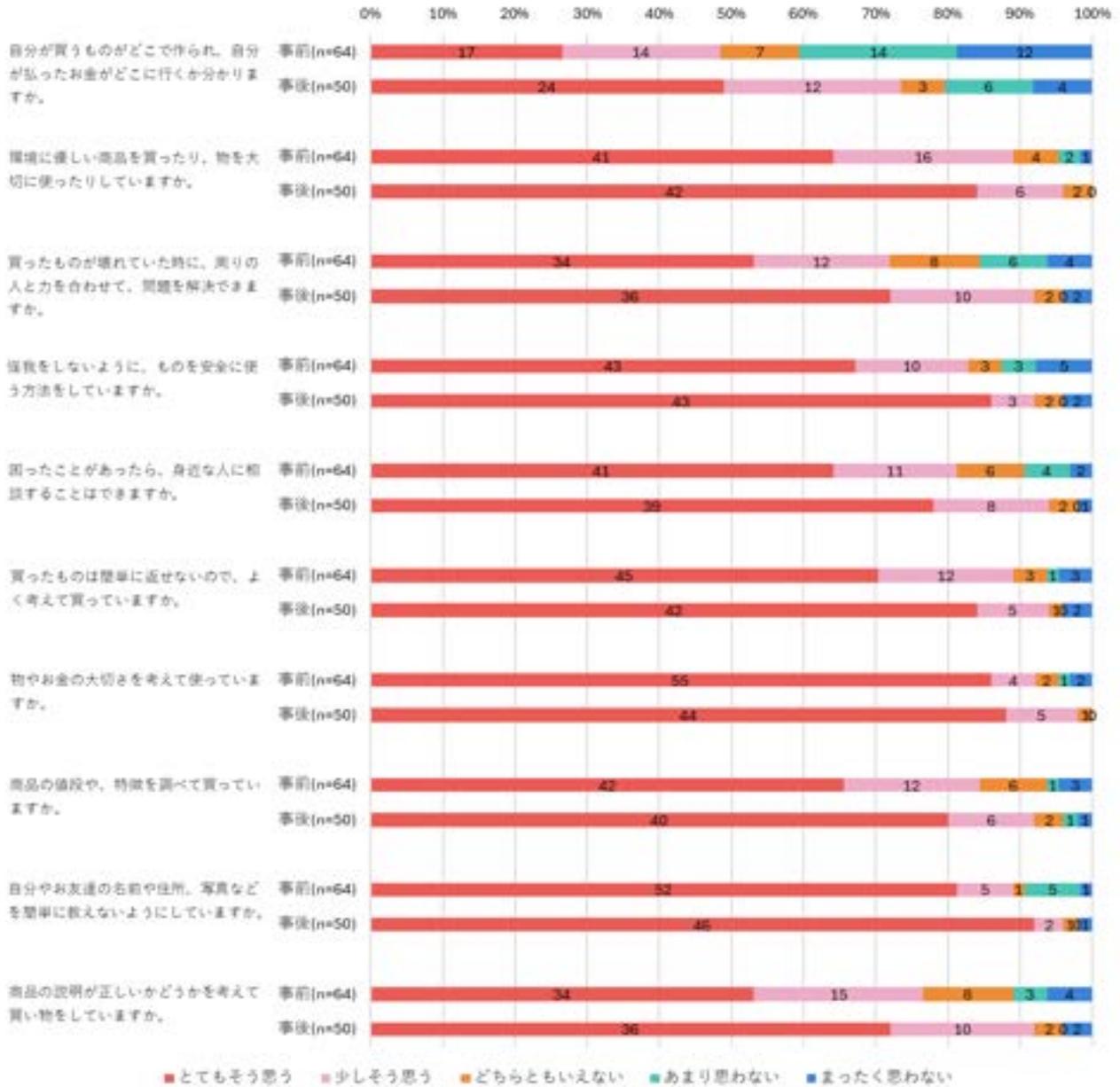
参加者の割合



参加した子ども達の感想の一例

栗拾いが19個も拾えてうれしかった。
仕事の活動やお金を使うのが楽しかった。
おもちゃの割引がうれしかった。
レジをやるのが難しかった。
子ども大学が楽しかった。
ファクトリーでおもちゃを作るのがすごく楽しかったのでまた遊びたいです！
かんたんで面白かった。
仕事体験ができて、大人になった気分でした。
すごく難しかったけど、もっとやりたいと思った。
楽しくて、もっとお買い物 that たくなりました

キッズタウン2024 事前・事後アンケート



☆結果

すべての質問で、キッズタウン前後に「とてもそう思う」の回答数が上昇しました。特に「自分が買うものがどこで作られ、自分が払ったお金がどこに行くか分かりますか。」という質問では、事前の割合が26.6%に対し事後の割合が48.0%まで上昇しました。これは、今回お金を銀行で受け取った後に税務署で給料の一部を税金として納める体験をしたことで、子ども達がお金の流れを実感できたからだと感じました。また「商品の値段や、特徴を調べて買っていますか。」という質問の「とてもそう思う」の割合が、キッズタウンの前後で65.6%から80.0%に上昇した点も、給料をすべて使えるわけではなく、税金を納めて残ったお金で、買い物をしたり、おもちゃを購入するためによく考えてものを購入することができるようになったためだと考えます。仕事をし、給料をもらい、その一部を税金として納め、残りのお金で好きなものを買うという経験を通し、消費者市民としてさまざまな視点で物事を考えられるようにきっかけになったと思います。来年度は、フェアトレード以外にも環境や生活に配慮した商品や体験を取り入れ、環境にも配慮して生活の大切さもより学べるようになるとうれしく感じました。

8. 記録写真



↑市役所



↑税務署



↑警察



↑ハローワーク



↑銀行



↑カフェ



↑ファクトリー



↑かき氷



↑ボウリング



↑栗拾い



↑こども大学



↑おもちゃ屋



↑飲食スペース



↑子ども達の様子



9. 運営組織

主催 キッズタウン KINJO 2024 実行委員会

小田奈緒美 金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科 准教授

古寺浩 金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科 教授

東珠実 椋山女学園大学 現代マネジメント学部 現代マネジメント学科 教授

小田高子 子ども絵画造形教室講師

協力 守山区役所(選挙管理委員会)

ボランティアスタッフ 金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科

運営スタッフ

実行委員長 末久万莉

副実行委員長 黒野紗也加

運営 垣貴彩花、森円香

会計 川野佑奈、戸田捺希

企画 氷見朋葉

庶務 山内美岬

書記 畑中海南

報告書 小島和子、鈴木美羽



3年 杉本真唯、千葉麻央、花井陽菜子、早川友月、新美弥生

2年 青山萌花、小川莉奈、風岡優里、後藤麻帆、三輪愛佳

1年 北島由菜

消費者教育実践論 運営担当者

3年 市川雅穂、今地千陽菜、小久保里紗、近藤紗也子、斎藤佳奈、高橋麗那、
寺沼果乃、豊島ひかる、長崎遥枝、野々垣京乃、早川穂香、林実咲、
早野あづき、藤井チコ、前原茉裕、三浦由恵

当日スタッフ

3年 秋重美友、中山真珠、岩崎万由子、前島優花、山森祐奈

2年 本田千尋

1年 飯田向奈子、石川琉月、加藤舞子、津志桃愛、伴野由希菜

キッズタウン KINJO 2024 実施報告書

発行：2024年12月10日

作成：金城学院大学

連絡先：小田研究室

所在地 愛知県名古屋市守山区大森二丁目 1723 番地

TEL 052-798-0180

Web <https://kids-towns.com/>

